

# 大分中央警察署協議会

## 第4回会議の開催状況

### 第1 開催月日

令和5年2月17日（金）

### 第2 出席者

協議会 委員 11名

警察署 署長、総務官、刑事官、地域交通官、総務課長、会計課長、  
留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、  
刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長 14名  
若手職員 7名

### 第3 議事の概要

#### 1 警察署協議会代表者連絡会議

協議会会長から、令和4年度警察署協議会代表者連絡会議結果について、報告がなされた。

#### 2 業務説明等

警察署から、令和4年度業務推進状況等について、説明がなされた。

#### 3 諮問事項について

##### (1) 取組状況の説明

警察署から、本年度の諮問事項である「若手職員の育成」について、説明がなされた。

##### (2) 諮問事項に関する意見

警察署から若手職員の自己紹介のほか、警察官を志した理由や、警察学校で印象に残った出来事などの説明がなされ、委員から若手職員に対する意見要望がなされた。

##### ア 3つを愛する

委員から「①郷土を愛すること。②人を愛すること。③仕事（職務）を愛すること。の3つを愛することが大切である」旨の意見がなされた。

##### イ 地域住民に寄り添う

委員から「①地域住民（県民）の声を丁寧に聞いて寄り添ってもらいたい。②社会情勢の変化が激しいので、今までのやり方を変える必要がある場合は、積極的に若手職員の感性で意見してもらいたい。③頑張れないと感じた時は、正直に頑張れないと声を上げ、自身の健康に留意すること」旨の意見がなされた。

##### ウ 人間関係の構築

委員から「人口減少が進んでいく中で、若手職員の活躍に期待が集まる。組織内だけでなく、組織外にも良い人間関係を構築してもらいたい。現場では叱咤の判断力、行動力が求められるので、そのために様々な関係から情報収集をしてもらいたい」旨の意見がなされた。

#### エ 困った時は

委員から「私自身が先輩から教わった言葉であるが、困った時は大きな声で独り言を言え。大きな声で言えば必ず周りの誰かが助けてくれる。最初からオリジナリティを出す必要はない。まずは先輩の話を聞いて、それを自分のものにしてから自身の意見を述べよ。そして良き先輩になれ」旨の意見がなされた。

#### オ 誰かの未来へ

委員から「警察官を志した理由として、幼い頃からの憧れが多かったが、同じように皆さんも誰かの未来へ影響を与える仕事である。どんな小さなことでも先輩に話を聞くこと。もっと大分を好きになるために、色々な場所に出掛けて見聞を広めること」旨の意見がなされた。

#### (3) 諮問事項に関する答申

委員から「SNSの発達に伴い、権利意識の高い者が増加しているので、メンタルに支障を来さないように、心の健康を保ちながら頑張ってもらいたい」旨の警察署長に対する答申がなされた。

### 4 その他

#### (1) 駐車監視員活動ガイドライン

警察署から、駐車監視員活動ガイドラインについて、説明がなされた。

#### (2) 駐車監視員活動ガイドラインに関する意見

##### ア 駐車監視員の体制

委員から「駐車監視員は何名体制で活動しているのか」旨質疑がなされ、警察署から「2名1組の2班で、計4名が活動している」旨の説明がなされた。

##### イ 活動件数の減少

委員から「放置駐車車両の確認や確認標章の取り付け件数について、なぜ減少しているのか」旨質疑がなされ、警察署から「配送業等のドライバーが2名1組で業務を行うケースが増加したほか、重点地域内に多くのコインパーキングが整備されたことなどの理由によるもの」旨の説明がなされた。